

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：岩手県奥州市立田原小学校
- 2 実施日時：2018（平成 30）年 12 月 13 日（木）14:00-15:25
- 3 対象：児童 26 名（3～6 年生）
- 4 派遣オリンピック：星 奈津美 さん
(競泳 ロンドンオリンピック 銅メダル、リオデジャネイロオリンピック 銅メダル)

5 授業内容：講演

2018（平成 30）年 12 月 13 日（木）に、岩手県奥州市立田原小学校にてオリンピック・パラリンピック教育実践が行われました。今回の実践では、競泳のオリンピックである星奈津美さんをお招きし、近隣のプール施設（えさしグリーンパーク）にて講演および実技指導が行われました。

田原小学校では、昨年度にも星さんによる講演が行われました。児童は、その時に星さんがお話しされた「前向き」「感謝」「チーム」という 3 つの大切なことを常に意識しながら、1 年間、体育授業等の様々な活動に取り組んできたそうです。そのため、再び星さんに会えることを非常に楽しみにしていたといいます。また、学校全体でも水泳に熱心に取り組んでいたり、地域でスイミングスクールに通っている児童がいるため、直接実技指導を受けられることにも喜んでいました。

はじめに、施設内の広間にて、星さんによる講演がありました。校長先生が星さんの紹介をした際には、昨年の講演内容が確認されましたが、児童は講演内容をしっかりと心に留めていた様子で、そのような児童の姿に星さんも驚き、また、喜んでいました。星さんからの「去年に比べて記録が伸びたり、できるようになった泳ぎがある人はいますか」という問いかけには全児童が手を挙げており、「みんな確実に前進しているね」と児童を褒めるとともに、目標をさらに大きくしようとエールを送っていました。

次にプールに移動し、実技指導が行われました。はじめに、星さんが模範としてクロールとバタフライを児童に見せていました。間近でみる星さんの泳ぎの美しさや速さに、児童からは大きな歓声があがりました。

実技指導の前半には、バタ足なしのけのびや、けのびからのキック、ビート板を用いたバタ足が行われました。けのびの姿勢について星さんは、あごを出さずにまっすぐの姿勢を作ることや、指先まで伸ばすこと、また、深いところまでしっかりと潜ってから壁を蹴ること等をポイントとして伝えていました。バタ足については、足が水中から出ないようにして水の中で蹴ることや、膝を曲げすぎないことをポイントとして伝えていました。児童は星さんの話を熱心に聞きながら、自分の泳ぎに取り入れようとしていました。

休憩を挟んだ実技指導の後半では、ビート板に片手を乗せての呼吸や、腕のプルの練習を行いました。ここで星さんは、伸ばした腕と耳が離れないようにすることや、最後まできちんと腕でかき切ること、顔を前向きにしすぎないこと等を伝えていました。最後には、キックやプルのポイントを意識しながら、ポイントが 1 つでもできるように泳いでみようという指示があり、児童たちは一生懸命に泳いでいました。

星さんへの質疑応答の時間には、多くの質問があがりました。水泳の技能面に関しては、上手なクロールの息継ぎはどうしたらできるかということや、バタフライで足が下がってしまうのはどうしたらいいか、バタフライのテンポを上手にとるための方法が質問されました。また、技能面以外に関しては、現役時代にやっていたトレーニングや、ライバルがいたかどうか、オリンピックに出場時やメダルを獲得時の気持ち、東京オリンピックでの注目選手、なぜ水泳が好きなのか、苦しい時や辛い時をどう乗り越えたか、選手になって一番変わったと思うことは何か等の質問があがりました。

最後に代表児童からのお礼の言葉として、教えてもらったことを水泳やその他のことにも生かしていきたいとの感想が述べられました。

子供たちが施設を出る前には、星さんのメダルを実際にかけてりする場面がありました。星さんは「みんな一人ひとりと交流したい」という初めにお話しされた言葉の通り、全員と握手を交わしていました。児童たちも非常に嬉しそうな様子で、「もう終わっちゃうのかー、早いなあ」という話し声も聞かれました。夢中で活動に取り組んだ様子がうかがえる実践となりました。

6 授業の様子



【 講演 】



【 実技指導の開始 】



【 星さんによる模範泳 】



【 実技指導① 】



【 実技指導② 】



【 星さんと握手をする児童 】